


(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番)全国港湾23FAX 第71号
(宛先)	2024年 2月20日 時 分
各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	(発信者) 全国港湾書記局 

(件名)

24港湾春闘情報(1)

(本文)

24港湾春闘は2月14日(水)に第1回中央港湾団交を開催し要求書を提出した。

組合側は要求趣旨説明にあたり、1月1日に起こった能登半島地震で損傷した港湾施設の修復と港湾労働者の雇用問題ならびに港湾年金の受給確保のための措置を業側に要求書として提出して早急に対応するよう求めた。

そして、趣旨説明の後、組合側より要旨次の点を強調した。

- (1) 労働条件整備を行い、魅力ある港湾労働を構築して次代を担う若年港湾労働者の確保を行う時だ。
- (2) 緊急課題として検数・検定・関連・専門の労働環境整備するための適正料金確保を強く求める。そして、大幅賃上げに質することが一丁目一番地である。
- (3) 特に指定事業体問題では協定不履行を行っている事業者がおり問題解決の進展がない状況で、もはや看過できる状況でなく、解決とならない場合は、相応の対応が必要であることを強く表明した。
- (4) 中労委が、日港協の再審査請求を却下し都労委命令を維持したことを重く受け止めるべきだ。これをあらため、きちっと労使交渉に戻すべきだ。

次回、3月11日15時00分から行なうことを労使で確認して団交を終了した。2月19日現在の単組のとりくみを下記します。

1. 各単組の取り組み状況について(2月19日現在)

- (1) 全港湾 1月30日～31日 第45回全港湾中央委員会(派遣＝真島)

3月1日までに要求書の提出し、スト権集約も3月1日までとする。

回答指定日3月11日を第1回回答指定日に基本とし、各地方の集中回答指定ゾーンを3月11～15日とする。要求は、基本給一律30,000円、大幅賃上げ目指す。初任給202000円、定年延長と高齢者雇用対策、労働時間短縮、労災企業補償の引き上げ、女性労働者の権利と労働環境整備、伝染病の休業補償を求める等10項目を要求。

- (2) 日港労連 1月31日～2月1日 第69回日港労連中央委員会(派遣＝真島)

2月14日(水)、第1回港荷労使交渉を行った。賃上げ要求は基準内20,000、及び物価高騰分10,000円を合算して、基準内月額賃金30,000円を要求。スト権確立2月末の集約。第2回交渉は、3月14日(木)神戸ポートオアシスで開催。

関連交渉は、第一回目、2月27日(火)要求は、月額3万円。独自課題として、5.9協定適用実施、産別協議促進、事前協議の作業体制に関連職種を付記する等。

- (3) 検数労連 1月25日～26日 第75回検数労連中央委員会
2月15日に第1回交渉を行い、要求書の提出を行い、回答指定日を3月22日としている。スト権集約は2月20日で確立。なお、要求は、本給一律30,000円とした。
- (4) 検定労連 2月8日～9日 第60回検定労連中央委員会
要求書提出は、各単組3月1日(金)に提出し、スト権集約は2月22日までに行い、3月中旬ごろに第1回団交を設定。なお、賃上げは10%以上の要求とし、要求項目として、あるべき賃金、時間外算定基礎分母の143への引き上げ、完全週休二日制確立、定年を65歳にすることを旨とする。
- (5) 全倉運 1月23～24日 全倉運春闘討論集会
5%+ α を統一要求基準とし、統一要求提出日は3月13日(水)、回答指定日を3月27日(火)とし、3月29日に一次回答を受け拡大中央闘争委員会を開催予定。
- (6) 大港労組 1月18～19日 大港労組春闘討論集会(派遣＝玉田)
大幅賃金引き上げを目指してたたかう。24産別春闘課題を踏襲することを確認。2月16日の中執では、要求金額3万円を掲げ、2月27日に第3回幹事会を開催し、要求書を決定。同日、第1回団交で要求提出。
- (7) 全日通 2月9日(金) 第85回全日通中央委員会
賃金15,000円の増額、一時金年間(夏季・年末合わせて)5か月分要求日は、2月9日。退職金の増額、生活の維持向上。定昇も含め取り組む。

以上